

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和 7 年 6 月 20 日			
長野県知事		様	
提出者			
住 所		長野県上伊那郡辰野町中央59	
氏 名		神稲建設株式会社辰野支店 支店長 宮沢忠司	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)			
電話番号 0266-41-4700			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 6 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	神稲建設株式会社 辰野支店		
事業場の所在地	長野県上伊那郡辰野町中央59		
事業の種類	建設業 (総合工事業)		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,757.0000 t	全処理委託量	1,757.0000 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	235.0000 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	5.0000 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄			

計画の実施状況

(産 業 廃 棄 物 の 種 類 : 汚 泥)

不要物等発生量

有償物量

排出量
① 1.1000 t

自ら直接
再生利用した量
② t

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
③ t

自ら中間処理した後
再生利用した量
⑧ t

項目	実績値 (自動)
①排出量	1.1000 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	t
⑤自ら熱回収を行った量	t
⑦自ら中間処理により減量した量	t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	t
⑩全処理委託量	1.1000 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	t
⑫再生利用業者への処理委託量	t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

自ら中間処理
した量
④ t

自ら中間処理した
後の残さ量
⑥ t

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量
⑨ t

④のうち熱回収
を行った量
⑤ t

自ら中間処理により
減量した量
⑦ t

⑩のうち再生利用業者
への処理委託量
⑫ t

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量
⑬ t

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量
⑭ t

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量
⑩ 1.1000 t

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量
⑪ t

計画の実施状況

(産 業 廃 棄 物 の 種 類 : 廃プラスチック)

不要物等発生量

有償物量

排出量
① 38.1850 t

自ら直接
再生利用した量
② t

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
③ t

自ら中間処理した後
再生利用した量
⑧ t

項目	実績値（自動）
①排出量	38.1850 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	t
⑤自ら熱回収を行った量	t
⑦自ら中間処理により減量した量	t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	t
⑩全処理委託量	38.1850 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	13.7200 t
⑫再生利用業者への処理委託量	t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

自ら中間処理
した量
④ t

自ら中間処理した
後の残さ量
⑥ t

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量
⑨ t

④のうち熱回収
を行った量
⑤ t

自ら中間処理により
減量した量
⑦ t

⑩のうち再生利用業者
への処理委託量
⑫ t

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量
⑬ t

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量
⑭ t

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量
⑩ 38.1850 t

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量
⑪ 13.7200 t

計画の実施状況

(産 業 廃 棄 物 の 種 類 : 紙くず)

不要物等発生量

有償物量

排出量
① 8.7300 t

自ら直接
再生利用した量
② t

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
③ t

自ら中間処理した後
再生利用した量
⑧ t

項目	実績値 (自動)
①排出量	8.7300 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	t
⑤自ら熱回収を行った量	t
⑦自ら中間処理により減量した量	t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	t
⑩全処理委託量	8.7300 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.8900 t
⑫再生利用業者への処理委託量	t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

自ら中間処理
した量
④ t

自ら中間処理した
後の残さ量
⑥ t

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量
⑨ t

④のうち熱回収
を行った量
⑤ t

自ら中間処理により
減量した量
⑦ t

⑩のうち再生利用業者
への処理委託量
⑫ t

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量
⑬ t

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量
⑭ t

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量
⑩ 8.7300 t

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量
⑪ 4.8900 t

計画の実施状況

(産 業 廃 棄 物 の 種 類 : 木くず)

不要物等発生量

有償物量

排出量
① 280.5000 t

自ら直接
再生利用した量
② t

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
③ t

自ら中間処理した後
再生利用した量
⑧ t

項目	実績値（自動）
①排出量	280.5000 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	t
⑤自ら熱回収を行った量	t
⑦自ら中間処理により減量した量	t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	t
⑩全処理委託量	280.5000 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	11.6050 t
⑫再生利用業者への処理委託量	t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

自ら中間処理
した量
④ t

自ら中間処理した
後の残さ量
⑥ t

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量
⑨ t

④のうち熱回収
を行った量
⑤ t

自ら中間処理により
減量した量
⑦ t

⑩のうち再生利用業者
への処理委託量
⑫ t

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量
⑬ t

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量
⑭ t

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量
⑩ 280.5000 t

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量
⑪ 11.6050 t

計画の実施状況

(産 業 廃 棄 物 の 種 類 : 繊維くず)

不要物等発生量

有償物量

排出量
① 0.6000 t

自ら直接
再生利用した量
② t

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
③ t

自ら中間処理した後
再生利用した量
⑧ t

項目	実績値 (自動)
①排出量	0.6000 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	t
⑤自ら熱回収を行った量	t
⑦自ら中間処理により減量した量	t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	t
⑩全処理委託量	0.6000 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	t
⑫再生利用業者への処理委託量	t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

自ら中間処理
した量
④ t

④のうち熱回収
を行った量
⑤ t

自ら中間処理した
後の残さ量
⑥ t

自ら中間処理により
減量した量
⑦ t

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量
⑨ t

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量
⑩ 0.6000 t

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量
⑪ t

⑩のうち再生利用業者
への処理委託量
⑫ t

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量
⑬ t

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量
⑭ t

計画の実施状況

(産 業 廃 棄 物 の 種 類 : 金属くず)

不要物等発生量

有償物量

排出量
① 13.6780 t

自ら直接
再生利用した量
② t

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
③ t

自ら中間処理した後
再生利用した量
⑧ t

項目	実績値 (自動)
①排出量	13.6780 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	t
⑤自ら熱回収を行った量	t
⑦自ら中間処理により減量した量	t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	t
⑩全処理委託量	13.6780 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	8.7010 t
⑫再生利用業者への処理委託量	t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

自ら中間処理
した量
④ t

自ら中間処理した
後の残さ量
⑥ t

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量
⑨ t

④のうち熱回収
を行った量
⑤ t

自ら中間処理により
減量した量
⑦ t

⑩のうち再生利用業者
への処理委託量
⑫ t

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量
⑬ t

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量
⑭ t

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量
⑩ 13.6780 t

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量
⑪ 8.7010 t

計画の実施状況

(産 業 廃 棄 物 の 種 類 : がれき類)

不要物等発生量

有償物量

排出量
① 269.0640 t

自ら直接
再生利用した量
② t

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
③ t

自ら中間処理した後
再生利用した量
⑧ t

項目	実績値（自動）
①排出量	269.0640 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	t
⑤自ら熱回収を行った量	t
⑦自ら中間処理により減量した量	t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	t
⑩全処理委託量	269.0640 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	58.7560 t
⑫再生利用業者への処理委託量	t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

自ら中間処理
した量
④ t

自ら中間処理した
後の残さ量
⑥ t

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量
⑨ t

④のうち熱回収
を行った量
⑤ t

自ら中間処理により
減量した量
⑦ t

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量
⑩ 269.0640 t

⑩のうち再生利用業者
への処理委託量
⑫ t

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量
⑬ t

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量
⑭ t

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量
⑪ 58.7560 t

計画の実施状況

(産 業 廃 棄 物 の 種 類 : 建設混合廃棄物)

不要物等発生量

有償物量

排出量
① 12. 3760 t

自ら直接
再生利用した量
② t

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
③ t

自ら中間処理した後
再生利用した量
⑧ t

項目	実績値 (自動)
①排出量	12. 3760 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	t
⑤自ら熱回収を行った量	t
⑦自ら中間処理により減量した量	t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	t
⑩全処理委託量	12. 3760 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	t
⑫再生利用業者への処理委託量	t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

自ら中間処理
した量
④ t

自ら中間処理した
後の残さ量
⑥ t

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量
⑨ t

④のうち熱回収
を行った量
⑤ t

自ら中間処理により
減量した量
⑦ t

⑩のうち再生利用業者
への処理委託量
⑫ t

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量
⑬ t

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量
⑭ t

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量
⑩ 12. 3760 t

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量
⑪ t

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

令和 6 年度産業廃棄物処理計画実施状況（産業廃棄物の実績の量）

単位：t

産業廃棄物の種類		排出量	自社内処理										委託処理				
			自ら直接再生 利用した量	自ら直接埋立 処分又は海洋 投入処分した 量	自ら中間処理 した量	④のうち熱回 収を行った量	自ら中間処理 により減量し た量	自ら中間処理 した後の残さ 量	自ら中間処理し た後再生利用し た量	自ら中間処理し た後自ら埋立処 分又は海洋投入 処分した量	②+⑧自ら再生 利用を行った量	③+⑨自ら埋 立処分又は海 洋投入処分を 行った量	⑩の委託量の内訳（重複する場合もあり）				
													直接及び自ら 中間処理した 後の処理委託 量	優良認定処理 業者への処理 委託量	再生利用業者 への処理委託 量	熱回収認定業 者への処理委託 量	熱回収認定業 者以外の熱回 収を行う業者 への処理委託 量
													⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
													自社内で処理を 行わず直接委託 した量と⑥のうち 処理業者に委託 して処理する量	優良認定処理業 者（廃棄物の処 理及び清掃に関 する法律施行令 第6条の11第2号 に該当する者）	中間処理後、有 効利用されてい る場合の委託量 （委託先から別の 業者に売却等さ れる場合を含む。）	認定熱回収施設 設置者（廃棄物 の処理及び清掃 に関する法律第 15条の3の3第1 項の認定を受け た者）	認定熱回収施設 設置者以外の熱 回収を行っている 処理業者への焼 却処理委託量
法 律	1 燃え殻	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
	2 汚泥	1.1000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	1.1000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
	3 廃油	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
	4 廃酸	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
	5 廃アルカリ	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
	6 廃プラスチック類	38.1850	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	38.1850	13.7200	0.0000	0.0000	0.0000
政 令	1 紙くず	8.7300	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	8.7300	4.8900	0.0000	0.0000	0.0000
	2 木くず	280.5000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	280.5000	11.6050	0.0000	0.0000	0.0000
	3 繊維くず	0.6000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.6000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
	4 動植物性残さ	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
	5 ゴムくず	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
	6 金属くず	13.6780	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	13.6780	8.7010	0.0000	0.0000	0.0000
	7 ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	124.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	124.0000	87.1000	0.0000	0.0000	0.0000
	8 鋳さい	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
	9 がれき類	269.0640	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	269.0640	58.7560	0.0000	0.0000	0.0000
	10 家畜ふん尿	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
	11 家畜の死体	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
	12 動物系固形不要物	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
	13 ばいじん	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
	14 処分するために処理したもの	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
建設混合廃棄物		12.3760	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	12.3760	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
水銀使用製品産業廃棄物		0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
合 計		748.2330	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	748.2330	184.7720	0.0000	0.0000	0.0000

※ 総排出量⑩＝②+③+（④－⑥）+⑧+⑨+⑩

※記入にあたっては、「産業廃棄物処理計画実施状況報告書」第3面備考の4を参照してください。